

施策分析シート（平成23年度）

No1

施策名	企業経営革新の支援			施策No	05-05		部課名	産業経済部経営支援課		課長名	三枝 直樹	内線	4 4 5
関連部課名													
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[Ⅲ]											
	政策	活力ある地域経済づくり[05]											
目的	産業を取り巻く環境が激変する中、企業競争力・経営力の強化に向けた新製品・新技術開発や販路拡大等の取組を支援することにより、区内企業の経営革新を促進し、区内産業の活性化を図る。												
指標	施策の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明					
			20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (28年度)						
	①	新製品・新技術開発補助件数	7	5	9	5	10件						
	②	産業財産権補助件数	8	9	10	9	10件						
	③	見本市等出展補助件数	40	33	40	43	50件						
	④	販売サイト出店数	167	118	110	110	110						
	⑤	販売サイト売上額	1,173	1,152	716	917	1,222	(万円)					
現状と課題 (指標分析)	○区内企業が企業間競争に生き残っていくためには、経営基盤の強化を図るとともに、従来の経営の枠組みにとらわれず、自社の強みを生かし、新製品開発や新事業進出等、経営革新に向けて新たな分野へ挑戦することが必要である。そのためには、企業の開発経費の負担軽減や産学連携による技術供与等の支援を行うことが必要である。 ○区内企業の販売促進を図るため、販路拡大に要する経費負担の軽減や製品情報を発信する場の提供等の支援が必要である。												
今後の方向性	《今までの成果及び指標分析を踏まえて》 ○新製品等の開発に要する経費を補助するとともに、「MACC（荒川区モノづくりクラスター）プロジェクト」を核とする産学交流企業間交流を推進する。また、産業財産権取得費用の補助、関係機関との連携により、知的財産戦略を支援する。 ○見本市等への出展経費の補助、「販売支援サイト」の運営により、製品情報を区内外に発信し、販路拡大を支援する。												

施策の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
重点的に推進	重点的に推進	区内企業が厳しい企業間競争に勝ち抜くためには、新製品開発や新事業進出、販路拡大等、絶えず経営革新に向けて新たな分野へ挑戦することが重要であり、その取組を支援することは区内産業の活性化のため、極めて重要である。

施策分析シート（平成23年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		21年度	22年度	前年度 設 定	今年度 設 定	
経営革新等支援事業	04-02-20	15,805	21,350	重点的 に推進	重点的 に推進	当該補助事業を通じて、区内企業の経営基盤の強化と経営革新が図られることが期待されることから、区内産業活性化を目指すためには極めて重要と考える。
TASKプロジェクト事業	04-02-21	1,728	1,625	推進	推進	区を超えた企業間交流による新製品や新技術の開発等の端緒となるこのような取組みは重要。
企業情報化支援事業	04-02-22	4,077	4,615	推進	推進	区内企業のIT化を促進することは、販路拡張の上からも重要。
販売支援サイト事業	04-02-23	9,005	5,719	推進	推進	インターネットを活用した区の直営ショッピングモールは経営資源の少ない区内小規模企業にとって販路拡張の上からも重要。
産業展助成	04-02-24	7,661	9,151	推進	推進	区内産業を区内外に広く紹介し、子供達にモノづくりの楽しさを経験させる契機となるイベントであり、後継者育成、販路拡張等の面からも重要。
合 計		38,276	42,460			